

そんなこともできないの？

まだきみにははやいよ

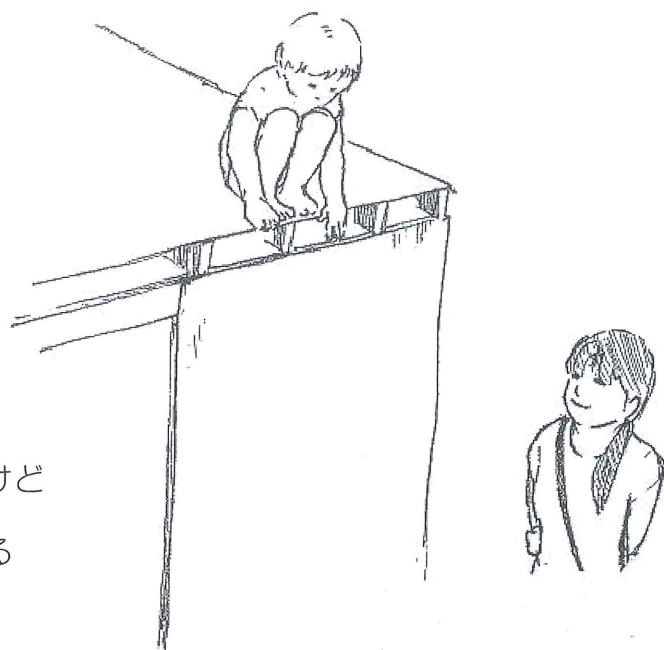
はやく〇〇しろよー

まわりからのプレッシャー

自分の心とは反対のことを要求される

やってみたいけど、やりたくないんだけど

まわりのことが気になってくるくなる



自分に嘘をつくのはとてもつらい

わたしはいま何がしたいのか、したくないのか

それを決めるのは自分自身



そんな思いを、認めてくれる人がいる

自分のタイミングを待ってくれる人がいる



【川崎市子どもの権利に関する条例】は2001(平成13)年に全国ではじめてつくられました。子ども一人ひとりが人間として大切にされ、守られながら自分らしく生きられるように作られた、市と市民との「約束」です。

この条例をもとに、子どもの居場所・活動の拠点となるように作られた『子ども夢パーク』

ここは、子どもがだれでも自由に遊んだり、やりたいことにチャレンジできる場所です。



★ 人間として大切な子どもの権利 ★

- 1、安心して生きる権利
- 2、ありのままの自分である権利
- 3、自分を守り、守られる権利
- 4、自分を豊かにし、力づけられる権利
- 5、自分で決める権利
- 6、参加する権利
- 7、個別の必要に応じて支援を受ける権利

★ おたんじょうび おめでとう 夢パーク!! ★

7月23日は夢パークのお誕生日。夢パークが誕生するまでに、そして誕生後もさまざまな人がそれぞれの立場で手をかけ、心を寄せて大切にしてきたこの場は、今年で18歳をむかえます。お誕生日にあわせて例年行ってきた『夢パークまつり』は、今年も新型コロナの影響で見合わせるようになりました。それでも、遊びにくる人も、仕事で携わる人も、そうでない人も共につくるこの場が、無事に18歳を迎えることへの感謝をこめて、せめて何かしらささやかにお祝いしたいと思い、日常の夢パークに少しだけプラスして新たな遊具を作っています。今日まで続いたこの場で遊ぶひとの姿、表情、声がまた、明日からの遊び場へと繋いでいくのだと思います。(ス・けい)



★ LIVE 復活への挑戦 in 夢パーク ★

7月10日(土)にサタデーナイトプロジェクトでコロナ禍でも行えるLIVEをテーマにステージの仮設営を行いました。子ども達から、LIVEを開催という声がありました。そのため、今年度の4月から第2、4土曜に子ども達が集まり、どうしたらコロナ禍でも夢パークでLIVEが開催できるかを検討してきました。

夢パークで開催するLIVEはステージから音響まで、子ども達が主になり準備、運営まで自分達で行います。今回はステージと客席の間隔、空気の入替え方など様々な試行錯誤のステージ作りが見られました。その他にもお客さんの受付方法、会場の入場制限などを考えています。

子ども達は「今年度中にLIVEを行う!」という目標をにかけています。本気でLIVEをしたいという熱意が伝わってきます。これからの活躍に乞うご期待です!(ス・トラ)



★ 夢パークの畑 ★

夢パークの畑は今、夏真っ盛り!! キュウリ・トマト・オクラなど夏野菜がたくさん。生で食べられる野菜はその場でパクリッ!! みんなのおやつになっています。畑には季節の野菜を植えており、遊びに来ている子どもや大人と一緒に一年を通して作業をします。6月には子ども達とジャガイモ掘りをし、今年は小さいイモがゴロゴロいっぱい採れました!

実は、駐車場の方にも畑があるのを知っていますか?そこにはサツマイモや、初チャレンジのカボチャを植えています♪カボチャは常連のお母さんから苗を頂いて、一緒に育てています。他にも畑の横には花壇があり、雑草だらけでしたが、夢パークのお誕生日に向けて、お母さんたちがきれいにしてくれて、子ども達と一緒に花を植えました!いろんな野菜やかわいい花がすくすく育ってきています!興味ある人はぜひ来てね♪(ス・まりっぺ)



前回告知した「井戸周りちびっこ遊び場プロジェクト」を6月に行いました!9日はみんなで井戸の周りにレンガを一つ一つ並べて敷いて、12日は『ゆるり』前に木製デッキを作製。デッキは扇型になるように切った木材を当日来場の方も一緒にペンキを塗り、『ゆるり』前に運んで並べてみると…あれ?どの順番?並べ方が違う?と並べ直し(^^)なんとか扇型に。常連の男の子がインパクトドライバーでガガガガッとネジ留め。遊びに来たお父さん達も子どもと一緒にトントン釘打ち。本当に両日とも暑い暑い日だったのですが、お手伝いしてくれたみんなのおかげで、井戸周りレンガ敷きと扇型ウッドデッキが完成しました!

他に何があるといいかな?あずまや?腰掛けられるウッドデッキ?プロジェクトはまだまだ続くのだ…つづく(支・倉田)



6月のつくりつづける会では、利用者からの提案を元に話し合われた内容が2つありました。

1つ目は、「真冬の水遊び後に泣きながら冷水シャワーを浴びて帰る子どものために、温水シャワーがあったらいいな」という親御さんの声です。何年もかかり、いよいよ動き出したので、具体的な使い方についての意見交換の場となりました。

2つ目は、「乳幼児が寝転ぶ場所には、杉板のような自然素材があったらいいな!」という声から、ゆるりの利用状況や必要な設備のニーズを知るためのアンケートを実施することに展開しました。

このように、一つ一つ様々な人の意見をもとにつくりつづけていくのが夢パークの特徴ですね。

『つくりつづける会』は、夢パークを利用してやってみたいことや気になったこと、ちょっとしたことでも発案できる機会ですので、興味のある方は是非ご参加ください。(支・ぐり)

次回は9月18日(土)14:00~



■YTK (横丁たのしくしろう会) ■

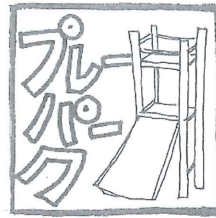
横丁楽しくしろう会、通称 YTK の活動が、今年度も始まっています。

今年度は、中学生から高校生、そしてOBも含めたメンバーで、既に5月から7月までに、5回の活動をしています。

今年は、中学生3名のメンバーが加わり、活動の輪も徐々に広がってきたので、なかなか皆の予定を合わせるのも難しく、LINE電話で繋がりながら会議をするといった、新しい試みも始めています。

これまでの会議では、こどもゆめ横丁で、やってみたいことを中心に話し合いました。ゆめ横丁当日に、おみこしやパレードをやりたい、また当日までのカウントダウンをやりたいという案が出てきました。

このように、今までやったことのないアイデアを出し合ったり、横丁のお店づくりについても新しいアイデアが続々生まれています。去年よりももっと楽しい横丁にしていけるために、活動を重ねていきます。いつでもだれでも参加できるので、興味のある人はぜひ参加してみてください！ (ス・やのちん)



■水遊びの季節がやってきた■

今年も暑い季節がやってきました。感染症が騒がれている中、これからは熱中症にも気を付けなければいけません。また、こ

な暑さなので、子どもたちは、夢パークに来ると、水遊びができる場所を真っ先に探しているように見えます。そのため、水で遊べる場所がたくさんあるといいなと話し合い、水遊び+熱中症対策ができる場所を増やすことにしました。

例えばタワースライダー。今年も『夢パークまつり』は行いませんが、イベントの人気遊具のタワーから流れる水の滑り台を作りました。やはり高いところから滑るというのは子ども大人関係なく楽しまれていて、さらに水が流れることでかなり開放的に遊べるのではないかと思います。

他には乳児、幼児向けの水遊びコーナーも作りました！ここでは小型の滑り台があったり、ブルーシートのプールがあったりと、小さい子も楽しめるようになっています。 (ス・いずみん)

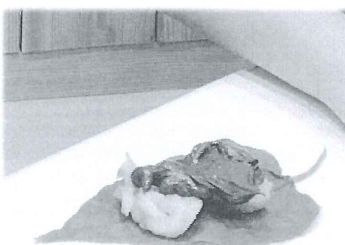


■バリ島わくわく冒険ツアー やっています■

インドネシアのバリ島で持続可能な未来を作るために活動するアース・カンパニーと、えんをオン

ラインでつないで、バーチャルツアーに出かける連続講座が始まっています！

初回は葉っぱをお皿にするインドネシアのエコな習慣から、プラスチックの問題について学びました。



実際に、バリの方にお裾分けいただいたバナナの葉っぱと、夢パークの葉っぱをお皿にしてインドネシアのスイーツを食べてみました。夢パークにも、ふき、みょうが、く

ず、くさぎ、ゆきのした、と、お皿に使える葉っぱがたくさんありました！地産地消のローカルな取り組みと、オンラインでバリとつながるグローバルな取り組みの組み合わせは、新しい学びの形ですね。

2回目は、クイズに答えながら、アース・カンパニーの経営するエコホテルを探検しました。みんな環境にもバリにも興味津々。たくさんのアイデアや質問が出て、毎回盛り上がっています！

(ス・あき)



《ボランティアの方に聞きました！その3》

創作スペースで木工や三線の音が聞こえたら福峯さんが来ているよ。子ども達や大人達みんなというんなものを作ったり、三線を弾いたりしている木工の達人です。今回は長くボランティアとして夢パークに関わってくれている福峯さんにお話を聞きました。

(ス・あいっぺ)

■ふくみねさんとモノづくり■

創作スペースの一幕で木工やりながら、みんなと冗談を言い合ったり、三線を弾いたりして過ごしています。

夢パークに来るようになったきっかけは、まずボリビアの学び舎づくりでたまりばの理事でもある永田さんと知り合い、そのご縁で当時の工房たまりば（現えんくる）の内装をスタッフと一緒にやったことからでした。当時のたまりばのスタッフ達の嘘のない笑顔が印象的で、今もこうして何かを作ったりしながら関わっています。

創作スペースの木工コーナーは夏になると昼間はすごく暑いけど、夕方に吹く涼しくてさわやかな風がすごく心地いい！風を感じながらみんなと三線を弾いたり、ものづくりをしたりしているときの子ども達の笑顔を見るとここに来てよかったなぁと感じます。



道具を使うということ



たき火をつけようとする男の子に、「斧使ったことある？」と聞いた。「あるよ、ゲームのマイクラで！」とその男の子が応えた。バーチャルな世界で、使いこなせていた斧に、彼は悪戦苦闘していた。ボタン一つで自在に操っていた斧と、実際に握ってみた斧には、どんな違いがあったのだろうか。

ボタンを押すだけでは感じ取れないことがあったのだろう。重みや衝撃、手の痛み、思うようにいかない歯がゆさ。10秒で使いこなせた道具が、15分かけても使いこなせない。それだけならまだいいが、使う私を傷つけたりもする。思った通りに動いてくれない、それがリアルな道具。指が腫れる、血が出る。のこぎりやトンカチを初めて握る子が避けては通れない道。

でも、だんだん使えるようになり、手になじんでいく。重くて支えるのがやっとだった斧で薪を割れるようになる、釘をトンカチで狙い通りに打てるようになる、あるいは自転車に乗れるようになる。気づけば、自分を傷つけるかもしれなかった道具が、友達のような存在になっている。

ある道具が、使えるようになると、「新しい私」になったような気がする。ペンが使えるようになると、どこにでも描いてみたくなる。トンカチが使えると、どこでもたたいてみたくなる。自転車に乗れると、もっと遠くへ行ってみたくなる。道具と共にある私の目には、世界がこれまでとは違って見えている。

道具と共に開けていく世界は、どこまで広がっていくのだろう。見知らぬ道具を前にして、「やってみよう！」と子ども達は叫ぶ。「まだ早いよ」と子どもの前に立つのか、「やってごらん」と、子どもと道具の二人三脚をドキドキ見守るのか。どちらにせよ悩みを抱えて見守る大人の存在は、きっとリアルな世界にしかない。
(ス・やのちん)

自分で一から道具をつくる

ある日、遊びに来ていた男の子に火起こし機を作りたいと声をかけられました。

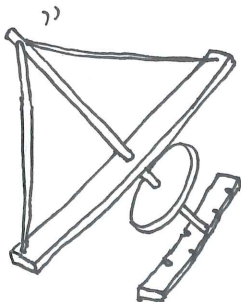
夢パークでは、たき火をするときに、マッチと新聞紙を渡しているのですが、その男の子は夢パークでたき火を何度もやっていて、時にはファイヤースターター(火打ち石)を持ってきて火を起こしてみたりと色々な方法でたき火を行っていました。次第に夢パークにある素材で火起こし機が作れないかと考えるようになったようで、どういう火起こし機を作るか一緒に考え、今回は舞切り式という両手で取っ手を持ち、上下に動かし、反動を利用して回転させ、火を起こす装置を作ることに。

まずは重りとなる角材をノコギリで切り出し、ハンドドリルで丸材を入れるための穴を開ける。しかし、これがかなり大変な作業。角材を切るので力を使い果たした男の子に「スタッフも手伝ってよ、力あるでしょ」と言われて交代しながら穴を開けることに。

作業をしながら、なぜ作ろうと思ったのかを聞くと、「マッチやファイヤースターターは点けるのは楽だけどつまらない、だから今回作ってみようと思ったけど、思ったより大変」とのこと。確かに便利であることよりも、時には不便な方が自分で考えるきっかけとなり、新しい発見も生まれるということに私自身も改めて気付かされました。

話しているうちに組み立てが完了していざ火起こし！初めは回転が安定しなかったのですが、慣れてくると煙が上がり火種を作れるように。火種が出来た時の満足気で達成感に溢れた表情がとても印象的でした。

素材や工具を使って何かを作ることによって自信が生まれ、そこから様々なことに挑戦していく子どもの姿を夢パークではよく目にします。そして同時に、子どもが失敗しても何度も挑戦できる場の必要性を日々感じています。(ス・たかしー)



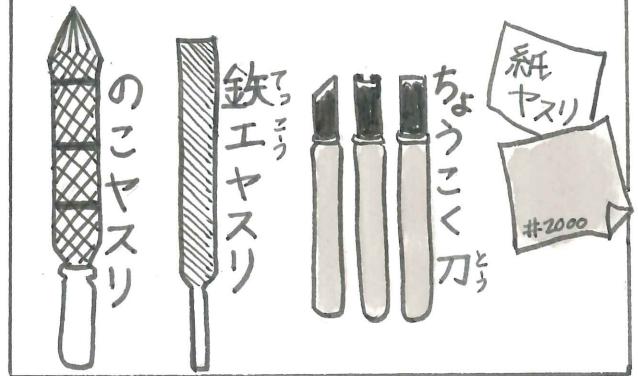
きる

木をきる・ヒモをきる など



けずる

木をけずる・ほる・表面をツルツレに



たたく

くぎをうつ・杭をうつ など



ゆめパークにある道具たち

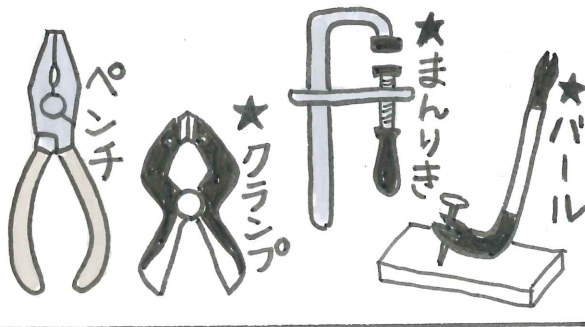
くっつける

木や紙などをくっつける など



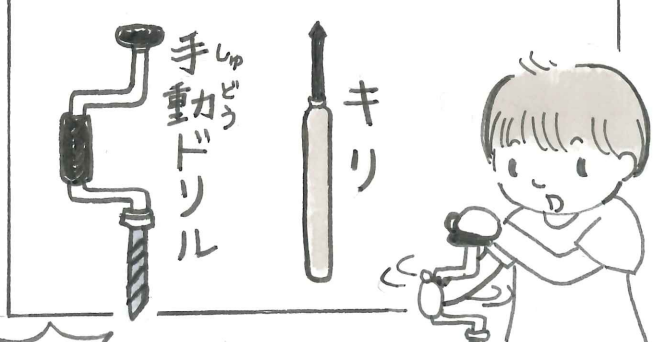
つかむ・とめる・ぬく

くぎをつかむ・板をとめる・くぎをぬく

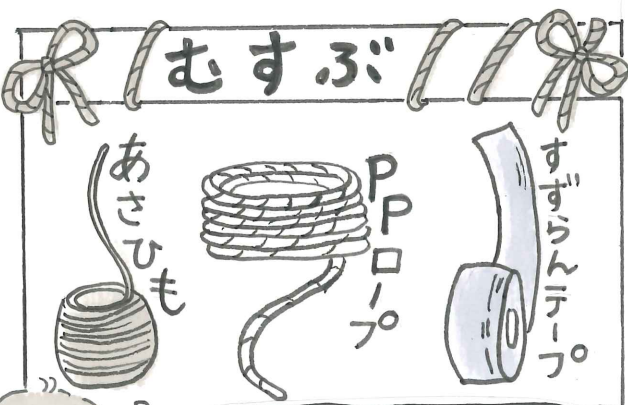


あける

木に穴をあける など

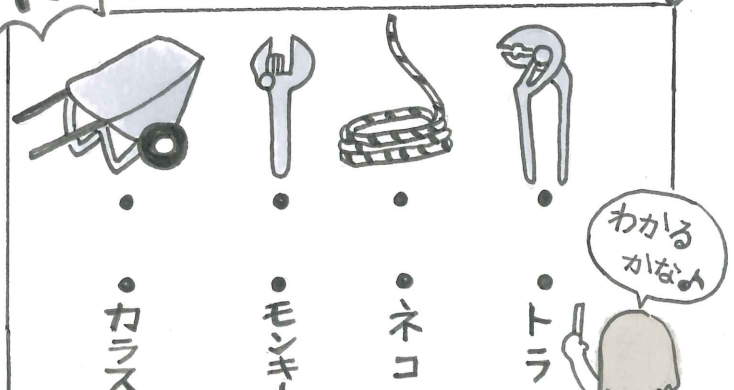


むすぶ



ワザ

重カ物のなまえがついてる道具

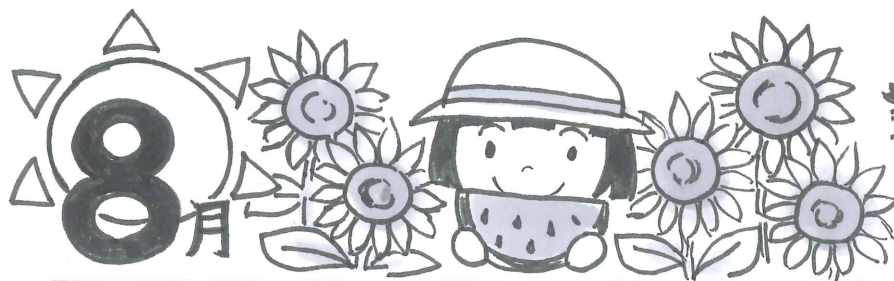


絵と動物を線でむすんでね。

* 工作の日：月・水・土・日曜日

★のついてる道具は自由につかえるよ。それ以外は、スタッフに声をかけてね

わかるかな



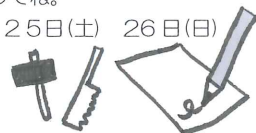
8・9月のイベント

◆◆こどもゆめ横丁 説明会◆◆

11月7日(日)こどもゆめ横丁を開催します。お店を出したい人は説明会に参加してね。

9月23日(木・祝) 25日(土) 26日(日)

詳しくはお問合せください。



◆おはなし^{x2}パーク

ボランティアさんによる絵本の読み聞かせの時間です。乳幼児対象。申込みは不要。

時間：11:00～ 場所：ゆるり(変更の場合もあります)

中川さん川野さんの読み聞かせ 毎月第二火曜日

おはなしブックカフェさくら 毎月第三木曜日

*8月 おはなしブックカフェさくら はお休みです。

◆親子でもっとあそぼう会



乳幼児親子対象。プレーパークで一緒に遊びませんか？

申込みは不要。汚れてもいい格好で来てください。

内容：9月8日(水)『しゃぼん玉』

*8月はお休みです。

時間：10:30～13:00



◆金曜あそぼう会

乳幼児親子対象、外遊びを楽しむ会です。内容は当日のお楽しみ！着替えがあると切り遊べます。申込みは不要。

日時：8月27日、9月10日・24日

(金) 10:30～12:45



◆ゆるりであそぼう、話そう会

乳幼児親子対象。申込みは不要。

ボランティアさんによる室内遊び、読み聞かせの他、お悩みを気軽に話しや相談ができます。

内容：8月25日(水)『動物・魚等との触れ合いについて』

9月22日(水)『友だち関係について』

日時：10:30～11:30

場所：ゆるり

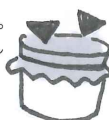


◆ベーゴマの日

初めての子も、得意な子も、一緒にベーゴマをまわそう！

ベーゴマの貸し出しもあります。申込みは不要。

日時：8月28日・9月25日(土) 14:00～



◆おさがりバザール

我が子には小さくなった子ども服や靴を無料で譲りあっていきます。ご家庭にある夏～秋物をお持ち寄りください。

*おさがりのお持込みは、おさがりバザール期間中にお願いします。(5、7、9、11、1、3月)

★奇数月の『点検日』翌日から1週間

日時：9月22日(水)～28日(火) 9:30～18:00

場所：事務所前



◆つくりつづける会(利用者懇談会)

夢パークを利用する団体や個人、支援委員会、夢パーク・えんスタッフたちで近況報告や情報交換、また、夢パークの利用のことやイベントのお知らせ、夢パークでの出来事などを話しています。夢パークについて関心のある方、どなたでも気軽に参加できます。ぜひ、のぞいてみて下さい。

日時：9月18日(土) 14:00～



月	火	水	木	金	土	日
		YTK (横丁たのしくしょう会) みんなで協力して 横丁を盛り上げよう！				1 ♪
2 ♪	3	4 ♪ ☒ YTK 15:00～	5	6	7 ♪	8 ♪
9 ♪	10 中川さん 川野さん	11 ♪ ☒	12	13	14 ♪	15 ♪
16 ♪	17 点検日 休み	18 ♪ ☒	19	20	21 ♪	22 ♪
23 ♪	24 17時 閉所 31	25 ♪ ☒ ゆるりあそぼう 話そう会	26	27 金曜 あそぼう会	28 ♪ ベーゴマの日	29 ♪



月	火	水	木	金	土	日
		1 ♪ ☒	2	3	4 ♪	5 ♪
6 ♪	7 防災訓練 13:30～	8 ♪ ☒ 親子でもっと あそぼう会	9	10 金曜 あそぼう会	11 ♪	12 ♪
13 ♪	14 中川さん 川野さん	15 ♪ ☒	16 さくら	17	18 ♪ メリッダス会	19 ♪
20 ♪	21 点検日 休み	22 ♪ ☒ ゆるりあそぼう 話そう会	23 横丁説明会	24 金曜 あそぼう会	25 ♪ 横丁説明会	26 ♪ 横丁説明会
27 ♪	28 17時 閉所	29 ♪ ☒	30 おさがりバザール			

- ♪ 火と工具の日 たき火ができます。工具が使えます。
- ☒ キレイにし隊 11:30 から夢パーク周辺のごみ拾いをしています。
- ♣ 畑作業 入口近くの畑で季節に応じて苗を植えたり、収穫したり、季節の作業をします。芋ほり等の日程は、夢パーク内に掲示します。

開所時間：午前9時～午後9時

★入場無料

★駐車場はありません(障がい者用駐車場についてはおたずねください)

★イベントは都合により中止または変更となることがあります。ご不明な点はスタッフまでお尋ねください。